

厚生労働科学研究費補助金（肝炎等克服政策研究事業）
分担研究報告書

オーダーメイドな肝炎ウイルス感染防止・重症化予防ストラテジーの確立に資する研究

研究分担者 河野 豊 北海道医療大学

研究要旨

歯科領域における e-learning のデザインを考えるために、「自身の感染対策」「患者の感染対策」「感染患者に対する差別・偏見」などの肝炎に関する設問を作成して歯科医療従事者に回答してもらった。その結果、「患者の感染対策」と「感染患者に対する差別・偏見」に関する設問に十分な正答が得られておらず、同領域に関する動画コンテンツ作成の必要性が判明した。

共同研究者

舞田健夫（北海道医療大学歯学部口腔機能修復・再建学系 高度先進補綴学分野）

寺島麻理子（北海道医療大学歯学部歯科衛生部）

A. 研究目的

ウイルス性肝炎の重大性を理解できるような効果的な eLearning のコンテンツを作成することを目的として、歯科医療従事者に肝炎に関する問題を作成して、設問の難易度や妥当性を評価することとした。

B. 研究方法

肝炎に関する設問を作成し、11名の歯科医師に回答してもらい、設問に対する理解度や問題点を抽出した。

（倫理面への配慮）

特になし

C. 研究結果

3問の多肢選択問題(All or nothing multiple choice question)を歯科医師に回答してもらった。11名中5名が3問とも正答していた。肝炎患者で使用した医療器具を他の患者と分けて滅菌をしている歯科医院(クリニック)があり、肝炎ウイルスに対する認識の不十分が明らかになった。また、肝炎患者の診療に関する設問では、感染に対する標準予防策の徹底が不十分なために選択に迷う歯科医師がいた。

問題；
ウイルス性肝炎の患者が歯の治療のため、あなたのクリニック（病院）を訪れました。歯科医として適切な対応はどれか
（正解は複数あります）

- A) ウイルス性肝炎はうつるから診療を断る
- B) 診療はするが、感染予防のために一番最後に診療する
- C) 周りの患者がいるところで肝炎の状態を詳細に聞き出す
- D) 他の患者と同様に診療を行う
- E) 問診票の項目(既往症や感染症及び内服薬)を確認する

正解；D、E

問題；
ウイルス性肝炎の患者を診療する上で、感染予防対策として正しいのはどれか
（正解は複数あります）

- A) 通常の滅菌とは別に肝炎患者専用として、滅菌の機械装置をもう1台購入する
- B) 肝炎患者で使用した医療器具の滅菌は、他の患者とは分けずに滅菌を行う
- C) 自身の感染予防対策として、手袋を患者毎に交換せずに破れるまでそのまま使用する
- D) 唾液や血液が付着した部分には、消毒用アルコール綿を用いて清拭する
- E) 全ての患者毎に手袋及び防護服を交換する

正解；B、E

問題；
血液・体液曝露や針刺しについて正しいのはどれか
(正解は複数あります)

- A) 直ぐに傷口を水で洗浄する
- B) 唾液には触れたが血液には触れてないので、
肝炎に感染することはない
- C) 以前にHBVワクチン接種した人は全員、
抗体が一生涯持続するため、感染することはない
- D) 肝炎を申告していない患者に使用した針やメス刃は、
ガーゼと一緒に一般ゴミに廃棄してよい
- E) 針やメス刃を使用した患者の感染状況について確認する

正解；A、E

D. 考察

eLearning で肝炎に関する動画コンテンツを作成する上で、理解度を確認するための設問作成を行った。3問の狙いとしては、「自身の感染対策」「患者の感染対策」「感染患者に対する差別・偏見」であったが、「自身の感染対策」については問題なく正解をしていた。一方「患者の感染対策」と「感染患者に対する差別・偏見」については、誤った選択をしていた。この理由として、出張先のクリニックや歯科医院の医療従事者が肝炎についての知識が十分でないために、感染対策が適切に施されていないことが考えられた。また正答率が5割程度であったことから難易度については妥当な選択肢であったことが考えられた。以上の結果からは、「患者の感染対策」と「感染患者に対する差別・偏見」を軸とした動画コンテンツを作成することが、肝炎の感染対策防止を向上するために有効であると考えられた。次年度以降については、本研究結果を元にシナリオを作成し、その妥当性を検証していく予定である。

E. 結論

eLearning で使用する設問の作成を行い、その妥当性を検証した。その結果「患者の感染対策」と「感染患者に対する差別・偏見」に関する動画コンテンツの作成が必要であることが判明した。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

- 1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

(発表誌名巻号・頁・発行年等も記入)

H. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む。)

- 1. 特許取得

なし

- 2. 実用新案登録

なし

- 3. その他

なし